

平成17年11月14日(月) 授業者: 押井 香織 (音楽室)

- 1.題材名 曲の気分を感じ取ろう 教材名 『冬の歌』
- 2.本時の目標 『冬の歌』が2つのふしのまとまり(前半16小節弾んだ感じ、後半8小節滑らかな感じ)からできていることに気づきつくったリズム伴奏を楽器の奏法を工夫することによって曲の滑らかな感じと弾んだ感じを出すことができる。
- 3.本時の評価規準 曲の中に旋律のまとまりが2つあることに気付いて、つくったリズム伴奏を楽器の奏法を工夫することによって、弾んだ感じと滑らかな感じの違いを表現することができる。(感受・表現の工夫)

4.児童の実態

- (学ぶ意欲) 曲を楽しんで歌ったり、「こんな風に表現してみたい」という願いを持ち活動したりすることが少しずつできるようになってきた。グループ活動を通して、仲間とともに活動する意欲を高めたい。
- (学ぶ力) 中間研究会を毎時取り入れることで、課題を達成するための手がかりを仲間から学ぶことが少しずつできるようになってきたが、自分の後半練習に生かせるようにしたい。
- (学び得た力) 導入で今まで学習してきたことを毎時繰り返し、歌ったり、演奏したりすることで、基礎基本の力を定着できるようにしたい。

5.本時の展開 (7/8時)

過程	学 習 活 動	研究テーマ具現のための手立て
導入	1はじめましょう 2合わせましょう ○リコーダーで「笛星人」をあたたかくやわらかい音色で演奏する。 3遊びましょう ○2拍子のリズム遊びをする。 4歌いましょう ○「冬の歌」をリズムにのって歌う。 5本時のめあてを持つ。 ○(?ボックスから、前時の学習の様子を振り返り、本時のめあてを持つ)	(自身を持たせるための認め・励まし) 楽しんでリズム遊びをしたり、リズムに乗って伸びやかに歌ったりしている子を認め、意欲につなげるようにする。 (研究内容Ⅳ-②)
つかむ	課題 「冬の歌」の弾んだ感じと滑らかな感じがリズム伴奏で出せるように、楽器の奏法を工夫しよう	(子どもが願いや憧れを持つ導入の工夫) 子どもにとって切実感ある課題作りをするために、前時の学習の様子から、曲想を気にせず、作ったリズム伴奏を打っているところをビデオに撮り、そこから課題を見つけるようにする。 (研究内容Ⅲ-②)
ふかめる	6見通しを持つ 練習しましょう(前半練習) ○弾んだ感じと滑らかな感じが出せるように楽器の奏法を工夫する。 ①つくったリズム伴奏を手拍子で打つことができる。(自分の席で) ②グループで、楽器の奏法を工夫する。(ステージコーナー1で) ③グループで、楽器の奏法を工夫して、弾んだ感じと滑らかな感じが出せる。(ステージコーナー2で)	(子どもの実態に応じた指導・援助) 弾んだ感じや滑らかな感じが出せているか巡視をし、子どもづかみをする。 子どものつますきに応じて、多くの手だてを持って支援する。 (研究内容Ⅳ-①)
	7中間研究会(見つけた仲間のよさを生かし、後半練習につなげる) ○はずんだ感じと滑らかな感じが出せるように楽器の奏法が工夫できている仲間の演奏を聴く。 ○仲間の演奏を聴いて、よかったところや、練習方法の工夫点を見つけ、後半の練習に生かせるようにする。 ・弾んだ感じが出せるように打楽器を打つ手も弾んでいたよ。 ・ラーのところから、滑らかな感じが出せるように楽器をやわらかく、つなげるように打っていたよ。	弾んだ感じや滑らかな感じがわからない。 → 教師が同じリズムを弾んだ感じと滑らかな感じで打って違いを見つけさせる。 弾んだ感じと滑らかな感じが聴き取れない。 → 変化があったところで手を挙げさせる。 仲間の演奏から弾んだ感じや滑らかな感じを出す奏法の工夫点を見つけることができない。 → どんなことを工夫したのか実際に仲間から聞く(きるように強く打つ・つなげるように柔らかく打つ)
たしかめる	8練習しましょう(後半練習) ④グループで、楽器の奏法を工夫して、弾んだ感じと滑らかな感じが出せるようになったら、仲間に聴いてもらう。(ステージコーナー2で) ⑤グループで、弾んだ感じと滑らかな感じが出せるようになったらミニミニ発表会に向けて、何度も練習するようにする。(ミニミニ発表会控え室で)	(中間研究会での高めあいの価値付け) 中間研究会で仲間の演奏を聴いて、工夫点を見つけ後半練習に生かす。 (研究内容Ⅲ-④)
	9ミニミニ発表会 ○友だちの演奏を聴いてよかったところを見つける。	(互いに聴きあう姿の価値付け) 1時間の中で、その子なりのがんばりを認め、価値づける。また、次時の課題につなげるように配慮する。 (研究内容Ⅳ-②)
	10自己評価	(1時間の学習の高まりを実感できる学習の振り返りの工夫) 学び合い学習での仲間の評価や発表の場での高まりから自己評価(okマグネットや授業の感想から)をする。 (研究内容Ⅲ-⑤)
	11終わりをしましょう	